

## 2021年度活動概要

## ELF研究会

2021年度は次の2つのイベントを主催し、研究会のテーマである「ELF in business and academic settings; ELF and pedagogy; identity, culture, language attitude and ELF」についての意見交換・理解の深化、及び情報発信に取り組んだ。

- 昨年に引き続き、9月に Book reading workshop を開催した。この会は、ELT Journal の特集号「Locating ELF in ELT」 (Dewey & Bayyurt, 2020 (eds)) から選出された論文を参加者が事前に読み、当日に意見交換をする形式で行われた。研究と教育の橋渡し及び相互的発展についての議論がなされた。
- 第2回・ELF SIG 国際ワークショップを2022年3月5日にZoomで開催した。会の前半には、ビジネス現場における英語と多言語の使用実態と教育への示唆についての議論を目的とした「ビジネスパーソン5人によるパネルディスカッション」、後半には Translanguaging 研究の権威である Li Wei 氏 (UCL Institute of Education, University College London) の「特別講演」を催した。前後半を通じて理論と実践の有機的な融合がなされ、非常に有意義な会となった。約180名の参加があり、質疑応答も活発に行われた。

長引くコロナ禍の中、研究会はすべてリモート開催となったが、講演者、参加者ともに移動の手間を省けるというメリットもあったように思われる。コロナ収束後は対面、リモート、ハイブリッド開催など、それぞれのメリットを生かして活動の幅を広げていきたいと考えている。

上記のほか、SIG 会員が以下のイベントの運営でそれぞれ活躍した。

- 玉川大学 ELF センター CELF-ELTama Forum for English Language Teaching (2021年8月21日 Zoom 開催)
- 愛知大学「国際英語」教育研究会フォーラム (2021年10月16日 Zoom 開催)

また、JACET ELG SIG ジャーナル (電子版) 第4版5版の合併号を2021年9月に発刊した。第4版にはSIG主催イベントでの招待講演者への依頼論文を掲載した。第5版ではSIG会員から募った投稿論文をもとに編纂した。

SIG 活動の詳細は <https://jacetelf.wordpress.com/> を参照されたい。